



県内経済の動き

概況

〔5月～7月の動き〕

足踏み状態が続く

鉱工業生産指数（5月）は一進一退が続く。「軽」を含む乗用車の販売台数（7月）は25カ月連続で減少し、百貨店・スーパー販売額（6月 全店ベース）は6カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（6月）も2カ月ぶりに前年比減少するなど、個人消費を中心に弱い動きがみられる。公共工事（6月 保証対象請負総額）は6カ月連続で前年を上回り、有効求人倍率（6月：1.26倍）は、前月比0.03ポイント上昇した。7月の企業倒産は件数、負債総額ともに前月比減少した。

県内経済は、依然として足踏み状態が続いている。

（厚地）